

コタニワタリ

Asplenium scolopendrium L.

チャセンシダ科
Aspleniaceae

カテゴリー

大分県 IA
環境庁 掲載なし

選定理由 温帯の日本海側に偏って生育する常緑性のシダ植物。九州での分布はごく希で、本県の生育地は土地造成により激減し、絶滅の危険性が極めて高い。

県内分布 玖珠丘陵地・山地

分布域 北海道,本州,四国,九州(福岡・佐賀・熊本・大分)
南千島,樺太,朝鮮半島,中国,ロシアからヨーロッパ,北アメリカ

生育環境 丘陵地のやや陰湿な林床。

現 状 生育地が3か所から1か所に減少し、個体数も非常に少ない。

クモノスシダ

Asplenium ruprechtii Kurata

チャセンシダ科
Aspleniaceae

カテゴリー

大分県 II
環境庁 掲載なし

選定理由 好石灰岩性のシダ植物。日本全国に広く分布するが、本県の分布は隔離的で個体数も少なく、石灰岩の採掘や林道工事などによる生育地の減少や消滅が懸念される。

県内分布 耶馬溪地区,大野川上流域,豊後水道後背地域,北川上流域

分布域 北海道,本州,四国,九州(福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎)
朝鮮半島,中国東北部,ロシア東部

生育環境 丘陵地の岩角地や石灰岩上に着生。

現 状 生育地の大きな環境変化は認められないが、個体数は多くない。

ヒノキシダ

Asplenium prolongatum Hook.

チャセンシダ科
Aspleniaceae

カテゴリー

大分県 IA
環境庁 掲載なし

選定理由 亜熱帯性の常緑シダ植物。九州全域に分布しているが、本県での生育地は限定されており、個体数も少なく、絶滅の危険性が極めて高い。

県内分布 耶馬溪地区,豊後水道後背地域

分布域 本州(静岡・紀伊半島),四国,九州(福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島)
朝鮮半島,台湾,中国,ベトナムからインド,スリランカ

生育環境 低地や丘陵地の林内の岩上。

現 状 上記地域に数か所の生育地があり、個体数も非常に少ない。